

質 一人親家庭を優先して給食費無償化は考えられないか。

答 学校教育課長 石川 司
無償化に進んでいく、推進していくということ、継続して実施できる制度にするため、慎重に検討を行っています。

質 財源確保で、10月の教育総合会議での協議内容について伺います。

答 学校教育課長 石川 司
制度設計について、一部無償化という案も一つです。制度設計について詰めています。条例については、外部の条例の専門にも精査をしている。

質 学校給食無償化の制度設計、規則設定、条例設定に対する進捗の状況を伺います。

答 学校教育課長 石川 司
一人親家庭の現状を見た場合、現在も給食費の補助、助成等は実施しているが、全てではないので、財源的に可能な部分ではないかと考えている。

給食費無償化について

安里 周作 議員

質 一人親家庭の現状を見た場合、現在も給食費の補助、助成等は実施しているが、全てではないので、財源的に可能な部分ではないかと考えている。

答 学校教育課長 石川 司
一人親家庭の現状を見た場合、現在も給食費の補助、助成等は実施しているが、全てではないので、財源的に可能な部分ではないかと考えている。

質 恩納村のSDGs未来都市計画のスケジュールのサステナビリティ・ハブ導入の全体計画の概要、経済、社会、環境について。

答 企画課長 山城雅人
サステナビリティ・ハブ事業については、役割、基本機能、方向性などの検討に関する基礎調査、事務局機能の検討、運営財源の検討を実施している。経済については、環境負荷の小さい観光スタイルの創出、恩納村の品質を担保し、中期的なブランディングを目指し検討している。社会の取り組みでは、OISTとの協働により、環境の保全を考え、環境エコ活動で村民と一緒に活動を発展させていければと考えている。女性の自立支援を行うっていくために、多様な働き方の支援や仕事と家庭及び地域

質 恩納村のSDGs未来都市計画のスケジュールのサステナビリティ・ハブ導入の全体計画の概要、経済、社会、環境について。

答 企画課長 山城雅人
サステナビリティ・ハブ事業については、役割、基本機能、方向性などの検討に関する基礎調査、事務局機能の検討、運営財源の検討を実施している。経済については、環境負荷の小さい観光スタイルの創出、恩納村の品質を担保し、中期的なブランディングを目指し検討している。社会の取り組みでは、OISTとの協働により、環境の保全を考え、環境エコ活動で村民と一緒に活動を発展させていければと考えている。女性の自立支援を行うっていくために、多様な働き方の支援や仕事と家庭及び地域

SDGs未来都市計画について

答 学校教育課長 石川 司
一人親家庭の現状を見た場合、現在も給食費の補助、助成等は実施しているが、全てではないので、財源的に可能な部分ではないかと考えている。

質 道路近くは子供も農家の方も往來します。直線道路、スピードを出して危険な箇所と想定されるが、工事終了後どのような安全対策を考えているか。

答 建設課長 崎山 敦
村道が優先となるため、車道区画線、白線を中央、左右に実施し、安全対策をします。完成後は、横断歩道、速度制限、停止線は、石川警察署、沖縄県警と協議して

質 道路近くは子供も農家の方も往來します。直線道路、スピードを出して危険な箇所と想定されるが、工事終了後どのような安全対策を考えているか。

答 建設課長 崎山 敦
村道が優先となるため、車道区画線、白線を中央、左右に実施し、安全対策をします。完成後は、横断歩道、速度制限、停止線は、石川警察署、沖縄県警と協議して

質 活動との両立への支援などを提案している。ユニバーサルリズムとしては、観光施設バリアフリー化、海のレジャーに障害を持った人が参加していける取り組みを検討している。環境については、モニタリングで、サンゴ保全効果の明確化にも制度設計や体制を整えていきたい。サンゴ保全の企業協賛事業では、観光資源の恩恵を受けている企業に対して協賛を募集し、事業展開での支援をいただければと考えている。(仮称)環境税による財源を、村内環境保全に充てる財源として検討しています。

質 活動との両立への支援などを提案している。ユニバーサルリズムとしては、観光施設バリアフリー化、海のレジャーに障害を持った人が参加していける取り組みを検討している。環境については、モニタリングで、サンゴ保全効果の明確化にも制度設計や体制を整えていきたい。サンゴ保全の企業協賛事業では、観光資源の恩恵を受けている企業に対して協賛を募集し、事業展開での支援をいただければと考えている。(仮称)環境税による財源を、村内環境保全に充てる財源として検討しています。



ツルヒヨドリ生息範囲拡大対応について

質 特定外来種の村内における生息範囲を認識して対策を考えていますか。

答 村民課長 屋良 朝也
生息については認識をしております。村内における生息範囲に関して、目視で調査を行ったところ、ほぼ全域で生息している。すごい勢いで繁殖している。葉っぱからも繁殖するというので、処理に関しては注意を払わないといけない。これから沖縄県に指導を仰ぎ対策方法を検討していきたい。

ツルヒヨドリ生息範囲拡大対応について

質 特定外来種の村内における生息範囲を認識して対策を考えていますか。

答 村民課長 屋良 朝也
生息については認識をしております。村内における生息範囲に関して、目視で調査を行ったところ、ほぼ全域で生息している。すごい勢いで繁殖している。葉っぱからも繁殖するというので、処理に関しては注意を払わないといけない。これから沖縄県に指導を仰ぎ対策方法を検討していきたい。

公共財産等の管理について

質 総務財政文教委員会において、所管事務調査報告書が委員長から議長に提出され、村当局にも通っていると思います。施設や備品については、村公有財産となっており、維持管理と事故が起きたときの対処について懸念されることから、現状の調査と今後の方針を検討し、村内の施設においては現地踏査も含め、村漁協から説明を聴取しました。総事業費23億4千4百万円で、事業の目的は恩納村で海ぶどう、



山城 良一 議員

伊江村や伊是名村ではトコブシ、伊平屋村でヒラメの水産物を生産し、水産物の安定供給体制を整備し、養殖された水産物は恩納村で加工、流通させ、離島三村の地元産品を含めて、販売の集約化を行うことにより、北西部四村水産業の活性化を図るためのものであった。当初の事業目的であるトコブシやヒラメの養殖は平成20年度でほぼ終了しており、三村には5千7百61平米の施設財産や機械類、備品等が残されている。伊江村は生産が成り立たず停止しており、今後は養殖試験を高知大学と連携し、実施を予定している。伊平屋村は、当初ヒラメの生産となっていたが、認知度が低いことや、種苗によるコスト高のためヤイトハタ(ミーバイ)への品目を変更し、年間約20トンの生産を行っている。現在、県と共同で、その他魚種の研究も実施している。各地域で努力はしたが、計画どおり推移していない。委員会としては、村公有財産を早目に三村に移管、譲渡を進めることを当局に提案するとされておりますが、今後の取り組みについて伺います。

質 総務財政文教委員会より貴重な報告書が上がっております。四村連携事業は、各地域では努力はしてはいますが、生産や販売、流通において計画どおり推移しなかった。必要であれば首長が集まって今後の方向性を示していきたい。

答 村長 長浜 善巳
総務財政文教委員会より貴重な報告書が上がっております。四村連携事業は、各地域では努力はしてはいますが、生産や販売、流通において計画どおり推移しなかった。必要であれば首長が集まって今後の方向性を示していきたい。

質 石川高等学校内に、村有地として5千2百59㎡の土地が登記されていますが、経緯と、今後どう対処すべきか。

答 総務課長 新里 勝弘
学校創設以来、村が土地を購入



入して無償で提供しているものと認識しております。県と有償で賃貸借ができるのかも含めて、方向性を模索していきたい。

質 近年、新規事業への基金の流用が目立っております。当初の目的であった老朽化、修繕等に限定すべきだと思えますか。

答 村長 長浜善巳
創設の目的としては、今後の庁舎を始めとする公共施設の大規模修繕に備えるための基金。もう一つの目的としては、統合中学校の整備、上下水道の整備、図書館の整備などについても基金創設の目的に位置づけられていたと考えております。大規模修繕が今後やっております。公共施設の大規模修繕等だけに限定した基金活用については検討の必要がある。

